

バス車内放送システムのIoT化と 全国初のWebによる広告販売の実証実験について

川崎鶴見臨港バス株式会社(本社:神奈川県川崎市 社長 野村 正人、以下「臨港バス」と)、株式会社ケイムアドシステム(本社:東京都豊島区 社長 三島 英子)は、バス車内放送システムのIoT化と、全国初のWebによるバス車内放送広告販売の実証実験を共同で実施いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 開発経緯とシステムの概要

これまでのバス車内放送はスタジオで事前に収録した音声データを、1台1台手作業でバス車載機器にデータを注入して放送しておりますが、作業負担の問題もあり、頻繁なデータ更新ができず多様なニーズに対応できない状況にありました。

今回、東京大学大学院伊藤昌毅准教授のシステム構築監修のもと、バス車内放送システムのIoT化に取り組み、全く新しいシステムを開発いたしました。今回開発した専用サーバーとバス車載機器がオンラインで繋がることにより、音声も含めたデータのリアルタイム化が図れる上、車内放送に留まらずGTFS(General Transit Feed Specification=公共交通データフォーマット)データを活用し、バス運行に必要な様々な情報更新もオンラインで行うことができるなど、新しい視点で最新のテクノロジーを活用したシステムです。

車内で流れる音声もリアルタイム化を図るため、ナレーターによる肉声から合成音声に切り替え、最新の高度な音声エンジンにチューニングを何度も重ねて自然な音声となるよう努めました。

このような様々な最新技術で、快適な車内空間づくりや運転士や職員の業務負担軽減も目指します。

2. Webによるバス車内放送広告販売について

今回開発のシステムを活用し、全国初となるWeb申し込みによるバス車内放送広告販売の実証実験を行います。これまでのバス車内放送広告は、すべて年間契約でクライアントの自由度が低い状況にありましたが、放送する期間や時間帯をWeb申し込み時に自由に設定し発注できるようになることで出稿クライアント数の増加が期待され、広告収入の増加にも繋がる可能性があります。

また広告だけに留まらず、バスをご利用のお客様に必要な情報をリアルタイムでお知らせするトライアルも実施し、必要な情報を速やかに車内での確にお伝えしサービスの向上に繋げて参ります。

3. 実証実験実施エリア

横浜市鶴見エリア(弊社鶴見営業所所管の全線)

※実証実験結果を踏まえ、来年度全エリアへの拡大を予定。

4. 実証実験の期間

2024年6月13日(木)~11月30日(土)

5. バス車内放送広告の Web 販売実証実験について

今回の実証実験期間中、新たに制作した web サイトを通じ株式会社ケイエムアドシステムが広告のテスト販売を行います。なお、広告出稿は法人に限らせていただくとともに広告枠に限りがあること、所定の審査がありご希望に添えない場合もありますのでご了承ください。

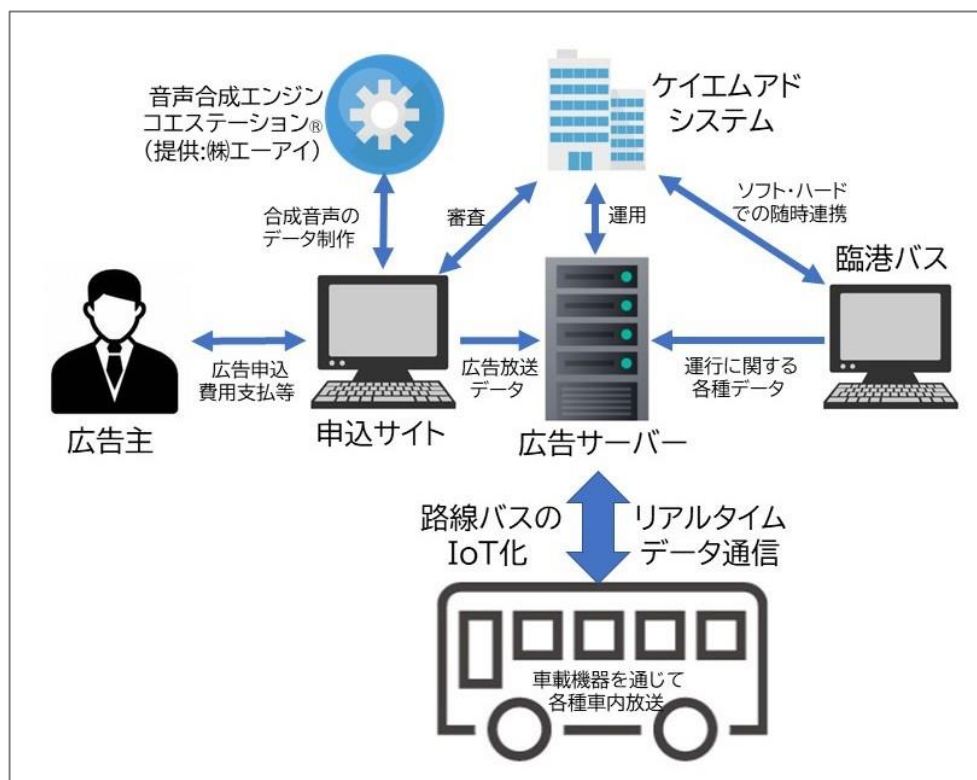
今回の IoT を活用した様々な実証実験を通じ様々なノウハウを蓄積し、様々な情報をリアルタイムでお届けできるバス車内空間を目指し、サービスの向上と地域の路線バスネットワークの維持に努めて参ります。

【参考】Web 申し込みサイトのイメージ(トップページ)



広告申込用 EC サイト URL: <https://rinko.aoi-system.com/>

システム全体の概念図



以上